

茨木市男女がともにつくるまちづくり 市民意識調査

市民の皆様には、日頃から市政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
います。

本市では、「茨木市第2次男女共同参画計画」（平成 24 年度～平成 33 年度）のもと、男女がお互いの人権を尊重し、社会のあらゆる分野の活動に参画する男女共同参画社会の実現をめざして、さまざまな施策に取り組んでいます。

このたび、この計画の5年目の見直しの時期にあたり、より一層の施策の推進を図るため、広く市民の皆様の意見をお聞きしたいと市民意識調査を実施することといたしました。ご多忙のこととは思いますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 28 年 8 月

茨木市長 福岡 洋一

ご記入にあたってのお願い

- この調査は、茨木市にお住まいの 20 歳以上の市民の皆様の中から無作為に抽出した 2,000 人の方を対象として行っています。ご回答いただきました内容は、統計的な分析及び教育研究機関で教育的な目的で使用するものであり、それ以外の目的には使用しません。また、名前の記入も不要です。
- お答えは必ず、あて名の方ご自身のお考えをご記入ください。
- 回答は質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えに近いものの番号に○をつけてください。質問によって、複数選んでいただく場合があります。「その他」にあてはまる場合は、() 内になるべく具体的にご記入ください。
- お答えいただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)で9月2日(金)までにご返送ください。

問合せ先 茨木市 市民文化部 人権・男女共生課
電 話 072 (620) 1640 (直通)
FAX 072 (620) 1725
メール jinken@city.ibaraki.lg.jp

I あなた自身やご家族についておたずねします。

F 1 あなたの性別は。(〇は1つ)

1. 女性 2. 男性 3. 女性・男性と答えることに抵抗を感じる

F 2 あなたの年齢は。(〇は1つ)

1. 20～29歳 2. 30～39歳 3. 40～49歳
4. 50～59歳 5. 60～69歳 6. 70歳以上

F 3 あなたは結婚していますか。(〇は1つ)

1. 未婚 2. 結婚している
3. 結婚していないがパートナーと暮らしている 4. 結婚したが、離婚または死別した

F 4 あなたの家族構成は。(〇は1つ)

1. 1人世帯 2. 一世代世帯(夫婦だけ)
3. 二世帯世帯(親と子) 4. 三世帯世帯(親と子と孫)
5. その他の世帯(具体的に)

F 5 あなたのお子さんの人数は。
(別居を含む)(〇は1つ)

1. 1人 2. 2人
3. 3人 4. 4人以上
5. 子どもはいない

F5-1 あなたの一番下のお子さんは。
(〇は1つ)

1. 3歳未満 2. 3歳以上就学前
3. 小学生 4. 中学生
5. 高校生 6. それ以上

F 6 あなたの職業は。(〇は1つ)

1. 勤め人(正規の社員や職員)
2. 勤め人(臨時・パートアルバイト等非正規社員や職員)
3. 自営業主
4. 家族従業員
5. 家事専業(専業主婦・主夫)
6. 無職(家事専業を除く)
7. その他(具体的に)

F6-1 従業員規模は。(〇は1つ)

1. 5人未満 2. 5～29人
3. 30～99人 4. 100～299人
5. 300～999人 6. 1,000人以上

F6-2 あなたの仕事の内容は。(〇は1つ)

1. 専門・技術職 2. 営業職
3. 流通・サービス職 4. 事務職
5. 生産・製造・建設などの労務職
6. その他(具体的に)

F 7 あなたの配偶者・パートナーは、現在、収入を得る仕事をしていますか。(〇は1つ)

1. している 2. していない 3. 配偶者・パートナーはいない

Ⅱ 子育てや学校教育についておたずねします。

問1 あなたは、子どもにどのように育ててほしいですか（ほしかったですか。）子どものいない方も、仮にいと想定してお答えください。（○はそれぞれ1つ）

	両方に	主に女の子に	主に男の子に	特に身につけてほしいと思わない
ア 何事も積極的にできるように	1	2	3	4
イ やさしさと思いやりを持てるように	1	2	3	4
ウ 経済的な自立ができるように	1	2	3	4
エ 特技を活かせるように	1	2	3	4
オ 責任感を持てるように	1	2	3	4
カ 社会に役立つように	1	2	3	4
キ 自分の身のまわりのことができるように	1	2	3	4
ク 自分の考えを人前ではっきり言えるように	1	2	3	4
ケ 素直で、よく言うことをきくように	1	2	3	4

問2 子育てについて、あなたの考え方に近いものはどれですか。子どものいない方も、仮にいと想定してお答えください。（○はそれぞれ1つ）

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
ア 性別にこだわらず、子どもの個性を伸ばす方がよい	1	2	3	4	5
イ 言葉使いや仕草など、女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく、しつけるのがよい	1	2	3	4	5
ウ 親の生き方や考え方が、子どもに与える影響は大きい	1	2	3	4	5
エ 子どもの世話の大部分は、男性でも女性でもできる	1	2	3	4	5

問3 茨木市の小・中学校では、男女平等を進めるために以下のような取組をしています。
その中で、あなたが重要だと思われる取組はどれですか。(〇はいくつでも)

1. 学校生活の中で、性別による固定的な役割分担を行わない
2. 性別によってかたよることなく、個人の能力、個性、希望を大事にした進路指導をする
3. 自分の心と体は大切なものであり、いじめや虐待に対して『ノー』を言う、誰かに相談するなど、小学校から自分を守る力を育む
4. 男女が平等に家庭の責任を果たすことの大切さを教える
5. テレビやインターネットなどからの情報をうのみにせず、読み解いて使いこなす力をつける教育を進める
6. 性的マイノリティ*に対する配慮をする
7. 校長や教頭に女性を増やしていく
8. 教職員に、男女平等教育に関する研修を充実する
9. 保護者会などを通じて保護者に男女共同参画の啓発をする
10. その他(具体的に)
11. 学校教育の中で男女平等教育に取り組む必要はない

※性的マイノリティ・・・性同一性障害など性別に違和感を感じる人や、同性に向かう同性愛、男女両方に向かう両性愛の人などのこと。

Ⅲ 家庭生活、仕事、社会活動、介護などについておたずねします。

問4 1日のうちであなたが仕事（在宅就労を含む）や家事（育児や介護を含む）に要する平均時間はどのくらいですか。（〇は平日・休日それぞれ1つ）

(1) 仕事（通勤時間を含む）

	平日
①なし	1
②4時間未満	2
③4時間～6時間未満	3
④6時間～8時間未満	4
⑤8時間～10時間未満	5
⑥10時間～12時間未満	6
⑦12時間以上	7

(2) 家事（育児・介護を含む）

	平日	休日
①なし	1	1
②30分未満	2	2
③30分～1時間未満	3	3
④1時間～2時間未満	4	4
⑤2時間～3時間未満	5	5
⑥3時間～4時間未満	6	6
⑦4時間以上	7	7

問5 あなたは、生活の中で「仕事」、「家庭や地域活動」、「個人の生活」で何を優先しますか。あなたの希望と現実（現状）に最も近いものをそれぞれ1つお答えください。

<p><希望> (〇は1つ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「仕事」を優先したい 2. 「家庭や地域活動」を優先したい 3. 「個人の生活」を優先したい 4. 「仕事」と「家庭や地域活動」を優先したい 5. 「仕事」と「個人の生活」を優先したい 6. 「家庭や地域活動」と「個人の生活」を優先したい 7. 「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」の3つとも大切にしたい 8. その他（具体的に _____） 9. わからない
<p><現実> (〇は1つ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「仕事」を優先している 2. 「家庭や地域活動」を優先している 3. 「個人の生活」を優先している 4. 「仕事」と「家庭や地域活動」を優先している 5. 「仕事」と「個人の生活」を優先している 6. 「家庭や地域活動」と「個人の生活」を優先している 7. 「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」の3つとも大切にしている 8. その他（具体的に _____）

※「仕事」・・・週1時間以上働いていること。フルタイム、パート、アルバイト、嘱託などは問わない
「家庭や地域活動」・・・家族と過ごす、家事、育児、介護・看護、地域活動など
「個人の生活」・・・学習・研究（学業も含む）、趣味・娯楽、スポーツなど

問6 あなたは、現在、収入を得る仕事をしていますか。(〇は1つ)

- 1. している
- 2. していない

▶《問6で「1. している」と答えた方におたずねします。》

問6-1 あなたの今の職場では、以下のようなことはありますか。当てはまるものに〇をしてください。(〇はいくつでも)

- 1. 労働時間が長く、家事・育児・介護などに十分な時間をかけられない
- 2. 賃金・諸手当において、男女で格差がある
- 3. 仕事の内容において、男女で格差がある
- 4. 教育訓練を受ける機会において、男女で格差がある
- 5. 仕事と妊娠・出産、育児や介護などを両立するための制度がしっかりしていない
- 6. セクハラ・マタハラ・パタハラ・パワハラの起きやすい職場風土がある
- 7. 事業主に女性を管理職に登用しようという考えがない
- 8. その他(具体的に)
- 9. わからない

▶《(現在、無職の方)におたずねします。》

問7 あなたは、今後、働きたいと思われませんか。(〇は1つ)

- 1. すぐ働きたい
- 2. 条件が整えば働きたい
- 3. 働きたくない
- 4. その他(具体的に)
- 5. わからない

▶《問7で「1. すぐ働きたい」「2. 条件が整えば働きたい」と答えた方におたずねします。》

問7-1 今後は働きたいけれども、現在働くことができない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1. 子どもが保育所などに入所できなかった
- 2. 家族が特別養護老人ホームなどに入所できなかった
- 3. 希望の条件にあう適当な仕事がない
- 4. 採用されない
- 5. 育児について、家族の協力が得られない
- 6. 看護・介護について、施設やサービスを利用できなかった
- 7. 看護・介護について、家族の協力が得られない
- 8. 体調不良
- 9. 家族の反対
- 10. 転職・起業の準備中
- 11. 就学中
- 12. 齢をとっている
- 13. その他(具体的に)

問8 あなたは、現在、地域で社会活動に参加していますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 活動に参加している | 2. 今後参加してみたい |
| 3. 参加したいと思うが参加できない | 4. 参加したいと思わない |

《問8で、「1」または「2」と答えた方におたずねします。》

問8-1 次の活動のうち、あなたが最近1年間に参加されたもの、また、今後参加したいと思われるものはありますか。(〇は参加したもの、参加したいと思うものそれぞれにいくつでも)

	最近1年間に参加した活動	今後参加したいと思う活動
① 趣味やスポーツなどのサークル活動	1	1
② 地域の活動(自治会、子ども会、女性会、老人クラブ、PTA、青少年健全育成など)	2	2
③ 消費生活活動や住民運動(共同購入やリサイクルなど)	3	3
④ 高齢者や障がい者などのための福祉・ボランティア活動	4	4
⑤ 子育て支援や子どもの育成活動	5	5
⑥ 消費者問題などに関する市民活動	6	6
⑦ 清掃・美化や環境保全のための活動	7	7
⑧ 防犯活動や防災活動	8	8
⑨ 市民講座や文化・教養講座などの生涯学習	9	9
⑩ まちづくりに関する活動	10	10
⑪ その他(具体的に)	11	11

《問8で、「3」または「4」と答えた方におたずねします。》

問8-2 あなたが何らかの活動に参加できない理由、参加したいと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 仕事が忙しい | 2. 家事との両立がむずかしい |
| 3. 子育てとの両立がむずかしい | 4. 家族の介護との両立がむずかしい |
| 5. 家族の反対がある | 6. 参加したい活動がない |
| 7. 活動時間が合わない | 8. 身近なところに活動場所がない |
| 9. 希望する活動の情報がない | 10. 一緒に活動する仲間がいない |
| 11. 活動資金がない | 12. 健康状態に自信がない |
| 13. その他(具体的に) | 14. 特に理由はない |

問9 あなたのまわりで、自治会長やPTA会長など、地域活動のリーダー的な役職についているのは男女どちらが多いですか。

1. 男性が多い 2. 女性が多い 3. どちらともいえない

《問9で、「1. 男性が多い」と答えた方におたずねします。》

問9-1 男性が多い理由は、何だと思えますか。(〇はいくつでも)

1. 男性がリーダーになることが慣例となっているから
2. 男性の方が、能力・経験・リーダーシップがあるから
3. 女性にリーダーを依頼しても断られることが多いから
4. 女性の方が、家庭生活との両立がむずかしいから
5. 女性の方が、家族の反対にあうから
6. 女性の方が、能力・経験・リーダーシップがないと思われているから
7. その他(具体的に)

問10 あなたは、ご家族の介護を行っていますか。(同居、別居は問わない)(〇は1つ)

1. 現在行っている 2. 過去に行っていた 3. 行っていない

問11 あなたは、家族が生活支援や介護が必要になった場合、どのようにしたいと思えますか。また、実際に生活支援や介護をされている場合は、どのようにしていますか。

(〇は1つ)

1. 行政や外部のサービスには頼らず、家庭で介護したい(している)
2. ホームヘルパーやデイサービスなどを利用しながら、主に家庭で介護したい(している)
3. 可能な限りサービスを利用しながら自宅で介護するが、症状が進んだら施設に入所させたい(させている)
4. 特別養護老人ホームなどの施設に入所させたい(入所させている)
5. その他(具体的に)
6. わからない

《問11で、「1」「2」「3」と答えた方におたずねします。》

問11-1 家庭で介護する場合、主に誰が介護することになると思えますか。または、実際に介護していますか。(〇は1つ)

1. 主に自分 2. 主に配偶者 3. 主にその他の家族(女性)
4. 主にその他の家族(男性) 5. 家族全員 6. 家族以外の人
7. その他(具体的に) 8. わからない

Ⅳ 男女の人権についておたずねします。

問12 あなたは、職場や学校、地域などで次のような行為をされたことがありますか。

(○はいくつでも)

	職場で	学校で	地域で	受けたことがない
ア 年齢や身体のことについて、不愉快な意見や冗談を言われる	1	2	3	4
イ 卑わいな言葉をかけられたり、わい談をされる	1	2	3	4
ウ 身体をじろじろ見られる	1	2	3	4
エ わざと身体に触られる	1	2	3	4
オ 宴会などでお酌やデュエットを強要される	1	2	3	4
カ 性的なうわさを流される	1	2	3	4
キ しつこく交際を求められる	1	2	3	4
ク 性的な行為を強要される	1	2	3	4

問13 あなたは、次のようなことが配偶者・パートナー間や恋人の間で行われた場合、暴力だと思いますか。(○はそれぞれ1つ)

	どんな場合でも暴力にあたると思う	もそうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない
ア なぐる、ける	1	2	3
イ 物を投げる	1	2	3
ウ 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
エ 大声でどなる	1	2	3
オ 「誰のおかげで生活できるんだ」、「甲斐性なし」などの人格を否定するような言葉を使う	1	2	3
カ なぐるふりをして、おどす	1	2	3
キ 刃物などを突きつけて、おどす	1	2	3
ク いやがっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
ケ 生活費を渡さない	1	2	3
コ 交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する	1	2	3

問14 あなたは、配偶者・パートナーや恋人など一定期間親しい関係にある（あった）相手がおられますか。（婚姻、同居の有無は問いません）（○は1つ）

1. いる（現在いなくても、これまでにいた場合を含む） 2. いない

《問14で、「1. いる」と答えた方におたずねします。》

問14-1 これまでに配偶者・パートナーや恋人が、あなたに対して次のようなことをしたことがありますか。（○はそれぞれ1つ）

	配偶者・パートナーから			恋人から		
	あ っ た も ど う も	あ っ た 1 〜 2 度	な い ま っ た く	あ っ た も ど う も	あ っ た 1 〜 2 度	な い ま っ た く
ア なぐったり、けったり、物を投げたり、突き飛ばしたりする等	1	2	3	1	2	3
イ 人格を否定するような暴言、大声でどなる、長時間無視する、ののしる、脅迫する等	1	2	3	1	2	3
ウ 性行為を強要する、避妊に協力しない、中絶を強要する等	1	2	3	1	2	3
エ 生活費を渡さない、仕事をして収入を得ることを制限する、貯金を勝手に使われる、相談なく借金を重ねる等	1	2	3	1	2	3
オ 外出や親族・友人との付き合いを制限する、電話やメールを細かくチェックする等	1	2	3	1	2	3
カ 子どもの前で暴力をふるったり、子どもに暴力をふるう	1	2	3	1	2	3

《全員におたずねします。》

問15 あなたは、配偶者からの暴力などの相談窓口として、どのような機関を知っていますか。知っているものに○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 茨木市配偶者暴力相談支援センター
2. 男女共生センター ローズWAM
3. 市役所の相談窓口
4. 大阪府女性相談センター
5. 大阪府吹田子ども家庭センター
6. 警察
7. 法務局、人権擁護委員
8. 1～7以外の公的な機関
9. 民間の専門家や専門機関（弁護士、カウンセラー、民間シェルターなど）
10. 医療機関
11. その他（具体的に _____）
12. 知っているところはない

V 男女共同参画に関する意識・政策及び茨木市の取組についておたずねします。

問16 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 |
| 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 |
| 5. わからない | |

《問16で、「1. 賛成」「2. どちらかといえば賛成」と答えた方におたずねします。》

問16-1 それはなぜですか。(〇はいくつでも)

1. 女性が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから
2. 家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから
3. 男性が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
4. 日本の伝統的な家族のあり方だと思うから
5. 自分の両親も役割分担していたから
6. その他(具体的に)
7. わからない

《問16で、「3. どちらかといえば反対」「4. 反対」と答えた方におたずねします。》

問16-2 それはなぜですか。(〇はいくつでも)

1. 固定的な男性と女性の役割分担の意識を押し付けるべきではないから
2. 女性が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから
3. 男性も女性も働いた方が、多くの収入が得られると思うから
4. 男女平等に反すると思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは可能だと思うから
6. 自分の両親もともに働いていたから
7. その他(具体的に)
8. わからない

問17 あなたは、男女の地位がどの程度平等になっていると思われますか。次の分野で、あてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている
ア 法律や制度のうえでは	1	2	3	4	5
イ 社会の慣習やしきたりでは	1	2	3	4	5
ウ 自治会などの地域活動では	1	2	3	4	5
エ 学校生活では	1	2	3	4	5
オ 雇用の機会や職業の選択では	1	2	3	4	5
カ 賃金や待遇では	1	2	3	4	5
キ 家庭生活では	1	2	3	4	5
ク 政治・経済活動では	1	2	3	4	5

問18 あなたは、女性が、出産・子育てなどが理由で辞めることなく働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 在宅勤務やフレックスタイムなど、柔軟な働き方の導入
2. 企業の育児休業の制度の整備・充実
3. 育児休業を取りやすい職場環境づくり
4. 女性が働き続けられる、または、復帰しやすい職場の雰囲気づくり
5. 育児のための施設やサービスの充実
6. 夫、パートナーの労働時間の短縮
7. 夫、パートナーなど家族の理解
8. 夫、パートナーなど家族の家事・育児などへの協力
9. その他(具体的に)
10. 特になし

問19 あなたは、再就職を希望する女性が、出産・子育てなどで仕事を辞めた後、再就職しやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 就職情報や職業紹介などの相談機関の充実
2. 技能・技術を身につけるための研修や職業訓練の機会の充実
3. 育児などの退職者を同一企業で再雇用する制度の普及
4. 労働時間の短縮やフレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入
5. 育児のための施設やサービスの充実
6. 企業経営者や職場の理解
7. 夫、パートナーなど家族の理解や家事・育児などへの参加
8. その他(具体的に)
9. 特にない

問20 あなたは、今後、男性が家事、子育てに積極的に参加していくには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 男性のための、家事・子育てなどの情報提供を行う
2. 男性が参加しやすい方法や場づくりをする
3. 男性が子育てを行うための仲間(ネットワーク)づくりを進める
4. 講習会や研修等を行い、男性の家事、育児の技能を高める
5. 男性に対して、仕事中心の生き方や考え方を見直すための機会をつくる
6. 社会の中で、男性が家事などに参加することに対する評価を高める
7. 事業主や企業に対して、労働時間の短縮など、仕事と生活の両立の重要性について啓発を行う
8. その他(具体的に)
9. 特にない

問21 あなたは、介護が理由で辞めることなく働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 在宅勤務やフレックスタイムなど、柔軟な働き方の導入
2. 企業の介護休業の制度の整備・充実
3. 介護休業を取りやすい職場環境づくり
4. 介護をしていても働き続けられる、または、復帰しやすい職場の雰囲気づくり
5. 介護のための施設やサービスの充実
6. パートナーの労働時間の短縮
7. パートナーなど家族の理解
8. パートナーなど家族の家事・介護などへの協力
9. その他(具体的に)
10. 特にない

問22 あなたは、心と体の健康を保つために、茨木市はどのような取組をする必要があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 食生活や健康づくりに関する情報の提供
2. 健診・検診情報の提供
3. 男女で異なる病気や症状などに配慮した性差医療情報の提供
4. 安心して出産できるよう周産期医療体制の充実
5. 悩みや不安をカウンセラーなどに相談できる体制の充実
6. 暴力の被害者に対するケア体制の充実
7. リフレッシュできるような場の提供
8. 生涯を通じて心身ともに健康で過ごすための学習機会の提供
9. その他(具体的に)
10. 特にない

問23 あなたは、男女共生センター ローズWAMをご存じですか。(〇は1つ)

1. 知っており、利用したことがある
2. 知っているが、利用したことはない
3. 知らない

《問23で「1. 知っており、利用したことがある」と答えた方におたずねします。》

問23-1 どういったことで利用されましたか。(〇はいくつでも)

1. ローズWAMまつりに参加
2. ローズWAMの講座やセミナーを受講
3. 電話相談や面接相談を利用
4. ホール、交流サロン(フリースペース)、会議室などの利用
5. 図書やビデオなどの貸出
6. 喫茶「ばーとなー」の利用
7. その他(具体的に)

問24 次の項目についてご存じのものはありますか。それぞれで、あてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	よく知っている	聞いたことがある	知らない
ア 男女共同参画社会	1	2	3
イ 女子差別撤廃条約	1	2	3
ウ 男女雇用機会均等法	1	2	3
エ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 (DV防止法)	1	2	3
オ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律 (女性活躍推進法)	1	2	3
カ ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	1	2	3
キ ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	1	2	3
ク 第2次茨木市男女共同参画計画	1	2	3
ケ ジェンダー (社会的性別)	1	2	3
コ LGBT	1	2	3
サ デートDV	1	2	3
シ ダイバーシティ (多様な人材の活用)	1	2	3
ス 茨木市男女共生センター ローズWAM	1	2	3
セ 茨木市配偶者暴力相談支援センター	1	2	3

問25 現在の茨木市についておたずねします。あなたご自身の経験に照らして、あなたの考えに最も近いと思うものを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	わからない
ア 男女平等の考え方が浸透している	1	2	3	4	5
イ 子育て支援策が充実し、男女がともに働き続けやすいまちになっている	1	2	3	4	5
ウ 介護支援策が充実し、男女がともに働き続けやすいまちになっている	1	2	3	4	5
エ 男性の子育て・介護への参画が進んでいる	1	2	3	4	5
オ 市のセクシュアル・ハラスメントやDVなど女性に対する暴力への対応が進んでいる	1	2	3	4	5
カ 市の女性の健康保持に関する支援が整備されている	1	2	3	4	5

◆男女共同参画社会に関して、ご意見やご感想がございましたらご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ご多忙の中、誠に恐縮ですが、調査票を同封の返信用封筒に入れ、9月2日(金)までにお近くの郵便ポストにご投函ください。(切手を貼る必要はありません。)